

平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 カッシーナ・イクスシー

コード番号 2777 URL <http://cassina-ixc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 森 康洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理部長

(氏名) 小林 要介

TEL 03-6439-1360

四半期報告書提出予定日 平成25年5月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,340	7.2	64	157.4	54	103.9	43	75.6
24年12月期第1四半期	1,250	—	24	—	26	—	24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	114.38	—
24年12月期第1四半期	65.13	—

(注) 平成23年12月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、平成24年12月期第1四半期の増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	4,825	2,720	56.4
24年12月期	4,719	2,715	57.5

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 2,720百万円 24年12月期 2,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	19.8	160	474.2	150	328.6	125	361.2	329.44
通期	6,200	16.7	370	82.8	350	78.3	290	55.7	764.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	409,110 株	24年12月期	409,110 株
-----------	-----------	---------	-----------

② 期末自己株式数

25年12月期1Q	29,677 株	24年12月期	29,677 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	379,433 株	24年12月期1Q	379,433 株
-----------	-----------	-----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理	3
(2) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済の情勢は、欧州各国の財政危機問題の長期化やアジア経済の成長鈍化によって輸出が減少するほか、燃料や原材料の高騰に加え電気料金の引き上げなどが重なり、先行き不透明な状況が依然として継続しておりました。しかしながら一方で、新政権による積極的な金融緩和政策に対する期待から、円安、株高の流れが加速し、消費者や企業のマインドに変化が表れてまいりました。

当社が属する家具インテリア業界におきましては、不動産、住宅産業各社がオフィス、住宅の積極的な供給姿勢を打ち出してきたことなどもあり、少しずつ需要の高まりを感じられるようになってまいりました。しかしながら、同時に業界内における競争も激化していることなどから、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のもと当社は、「洗練された、夢のある生活空間へ」という企業理念を実現するため、事業活動の中心を家具インテリアという物品の販売から、快適なオフィス空間、落ち着ける住空間など顧客が望むライフスタイルの実現に貢献することに転換することで他社と差別化するとともに、そのような活動を収益力の源泉にすることを目指してまいりました。また、前期に実施した青山本店の改装に伴い、当社が提案する空間の発信力を強化したことで、お客様への提案に対する受注確率や顧客あたり購入単価が上昇するなどの効果がでてまいりました。さらに、大阪や名古屋の営業拠点においても、前期から取り組みを強化した百貨店への卸売ビジネスや、ハウジングメーカー及び自動車会社など異業種とのタイアップイベントなどにより、売上高は前年同期の金額を上回る結果となりました。また、自社工場の稼働率が向上したことなどにより、粗利率が改善いたしました。一方、円安ユーロ高による輸入商品の原価上昇はあるものの、カッシーナブランドの販売比率の上昇や自社工場の稼働率が向上したことなどが寄与し、粗利率が改善いたしました。販売費及び一般管理費については、百貨店やハウジングメーカーとタイアップした家具販売会を積極的に各地で実施したことにより物流関係費が増加したほか、5月発表予定の新作カタログ撮影費用で販売促進費が増加しております。以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,340百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益64百万円（前年同四半期比157.4%増）、経常利益54百万円（前年同四半期比103.9%増）、四半期純利益43百万円（前年同四半期比75.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて96百万円増加し、3,367百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が206百万円減少する一方で、受取手形及び売掛金が126百万円、商品及び製品が116百万円、原材料及び貯蔵品が12百万円、それぞれ増加したことによるものです。固定資産は、前事業年度末に比べて8百万円増加し1,457百万円となりました。主な変動要因は、長期前払費用が19百万円、有形固定資産取得で11百万円増加する一方で、減価償却費が19百万円、ゴルフ会員権の簿価切下げで1百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて105百万円増加し、4,825百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて76百万円増加し、1,381百万円となりました。主な変動要因は、買掛金が114百万円、未払費用が70百万円それぞれ減少した一方で、前受金が135百万円、賞与引当金が58百万円増加したことによるものです。固定負債は、前事業年度末に比べて23百万円増加し、722百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が14百万円減少した一方で、社債が38百万円増加したことによるものです。

この結果、負債は前事業年度末に比べて100百万円増加し、2,104百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて5百万円増加し、2,720百万円となりました。主な変動要因は、四半期純利益を43百万円計上した一方で、配当金の支払により37百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年2月14日発表の「平成24年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396,315	1,190,117
受取手形及び売掛金	581,943	708,442
商品及び製品	1,087,071	1,203,980
仕掛品	8,494	19,396
原材料及び貯蔵品	129,503	141,804
その他	68,771	105,475
貸倒引当金	△1,100	△1,300
流動資産合計	3,270,999	3,367,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	451,911	445,816
その他(純額)	326,599	331,127
有形固定資産合計	778,511	776,944
無形固定資産	31,610	27,116
投資その他の資産		
差入保証金	553,914	554,041
その他	91,158	106,039
貸倒引当金	△6,660	△6,660
投資その他の資産合計	638,412	653,420
固定資産合計	1,448,533	1,457,480
資産合計	4,719,533	4,825,398
負債の部		
流動負債		
買掛金	558,073	443,194
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	57,960	57,960
1年内償還予定の社債	60,000	92,000
未払法人税等	—	14,200
賞与引当金	—	58,500
その他	479,094	566,042
流動負債合計	1,305,127	1,381,896
固定負債		
社債	240,000	278,000
長期借入金	388,200	373,710
退職給付引当金	20,408	20,537
その他	50,661	50,661
固定負債合計	699,269	722,908
負債合計	2,004,397	2,104,805

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,294	400,294
資本剰余金	440,930	440,930
利益剰余金	1,983,417	1,988,874
自己株式	△109,505	△109,505
株主資本合計	2,715,136	2,720,592
純資産合計	2,715,136	2,720,592
負債純資産合計	4,719,533	4,825,398

(2) 四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	1,250,491	1,340,969
売上原価	592,750	625,765
売上総利益	657,740	715,203
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	169,805	166,734
賞与引当金繰入額	42,188	49,533
退職給付費用	11,576	13,380
地代家賃	155,272	157,897
その他	253,911	263,331
販売費及び一般管理費合計	632,753	650,876
営業利益	24,986	64,327
営業外収益		
受取利息	60	50
デリバティブ評価益	4,501	—
その他	1,009	686
営業外収益合計	5,570	737
営業外費用		
支払利息	2,997	2,923
為替差損	373	2,882
その他	260	4,361
営業外費用合計	3,631	10,167
経常利益	26,926	54,896
特別損失		
固定資産除却損	—	196
特別損失合計	—	196
税引前四半期純利益	26,926	54,699
法人税、住民税及び事業税	2,214	11,300
法人税等合計	2,214	11,300
四半期純利益	24,711	43,399

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は家具インテリア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。